

埼玉県大学・短期大学図書館協議会第23回研修会

2011年12月12日(月)

学習支援は図書館で:学生・教員・職員の連携を目指して

大学図書館における学習支援:
学生と教職員の協働をめざして

呑海沙織

筑波大学図書館情報メディア系

donkai@slis.tsukuba.ac.jp

大学図書館における学習支援： 学生と教職員の協働をめざして

1. はじめに
2. 利用者と大学図書館の関係性の変化
3. 利用者とともにつくる学習支援
4. 大学における学習支援
5. 学習支援を再構築するラーニング・コモンズ
6. ラーニング・コモンズにおける学生アシスタントの役割
7. 大学図書館における学習支援の今後に向けて

大学図書館における学習支援

1. はじめに
2. 利用者と大学図書館の関係性の変化
3. 利用者とともにつくる学習支援
4. 大学における学習支援
5. 学習支援を再構築するラーニング・コモンズ
6. ラーニング・コモンズにおける学生アシスタントの役割
7. 大学図書館における学習支援の今後に向けて

今日のおはなしの目標

- これまでの延長線上ではない「学習支援」を考えるきっかけになること
- 視点を図書館からそとへ向けること
- 大学のグランドビジョンのなかで図書館の役割を再考するきっかけになること

大学図書館における学習支援

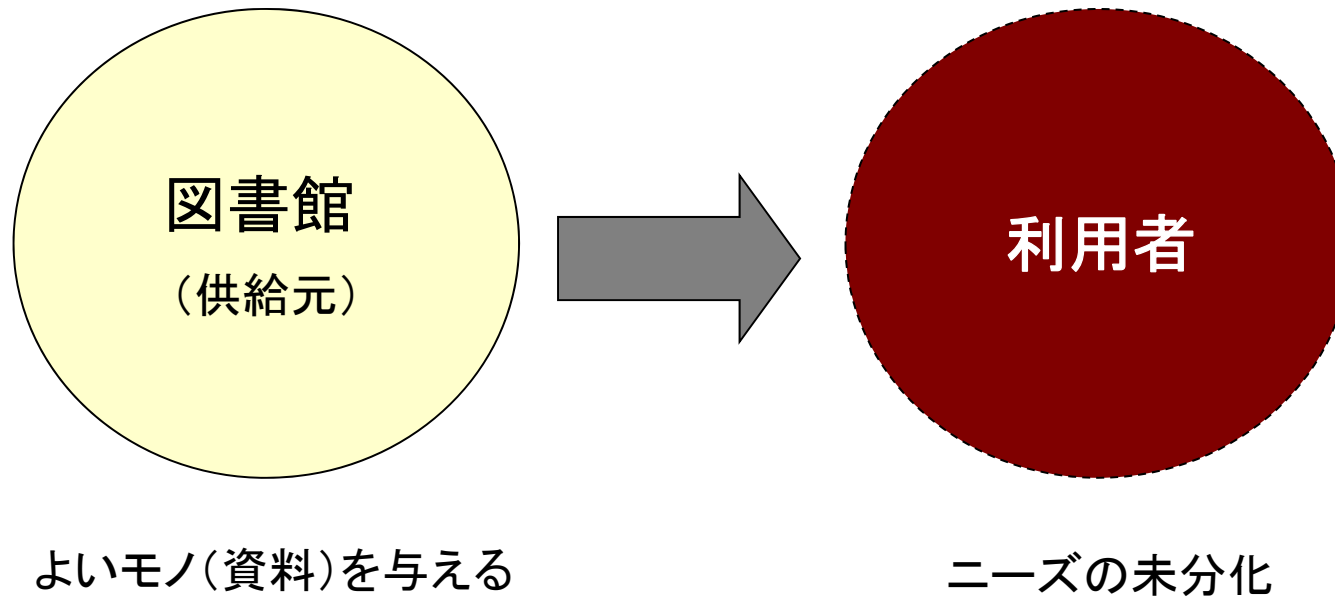
1. はじめに
2. **利用者と大学図書館の関係性の変化**
3. 利用者とともにつくる学習支援
4. 大学における学習支援
5. 学習支援を再構築するラーニング・コモンズ
6. ラーニング・コモンズにおける学生アシスタントの役割
7. 大学図書館における学習支援の今後に向けて

大学図書館と利用者の関係性の変化

	大学図書館	利用者のニーズ	利用者と図書館の関係
第4段階	パートナー	創出化	図書館は利用者から学び価値を共に創出
第3段階	エージェント	曖昧化	図書館は利用者の側にとって利用を促進
第2段階	提供元	多様化	図書館は利用者のニーズに合わせてサービスや資料を提供する
第1段階	供給元	未分化	図書館はよい図書を利用者に与える

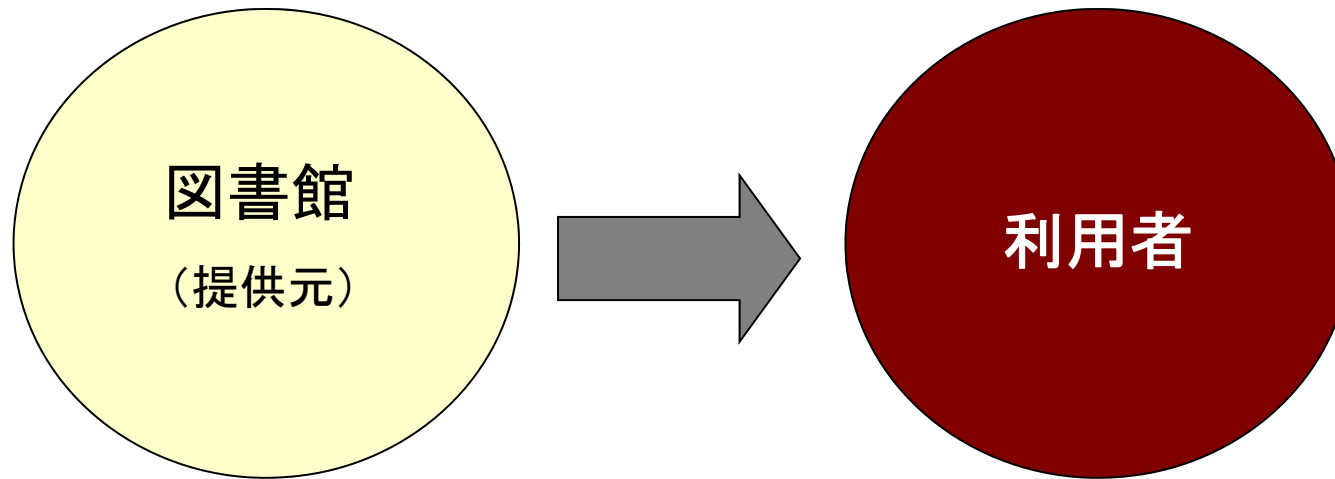
アクセントア編『CRM:顧客はそこにいる』東洋経済新聞社, 2001より作成

第一段階



図書館はよい図書を利用者に与える

第二段階

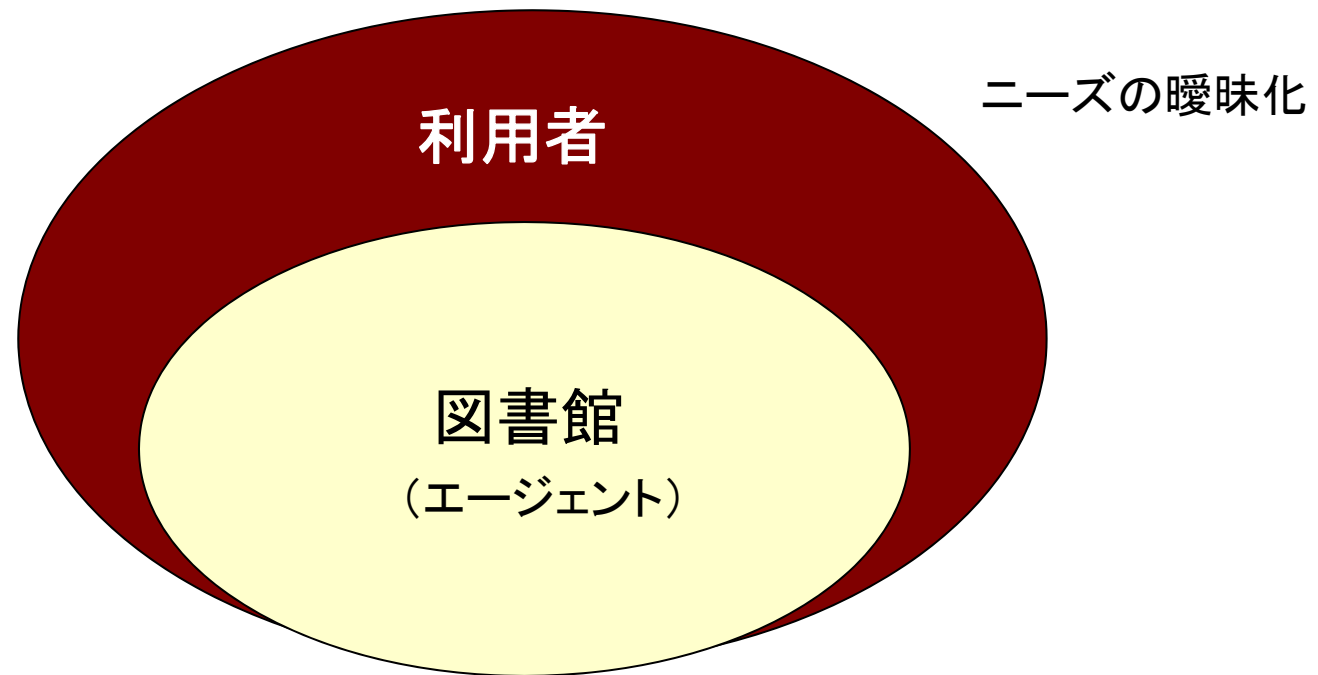


ニーズに合わせて提供する

ニーズの多様化

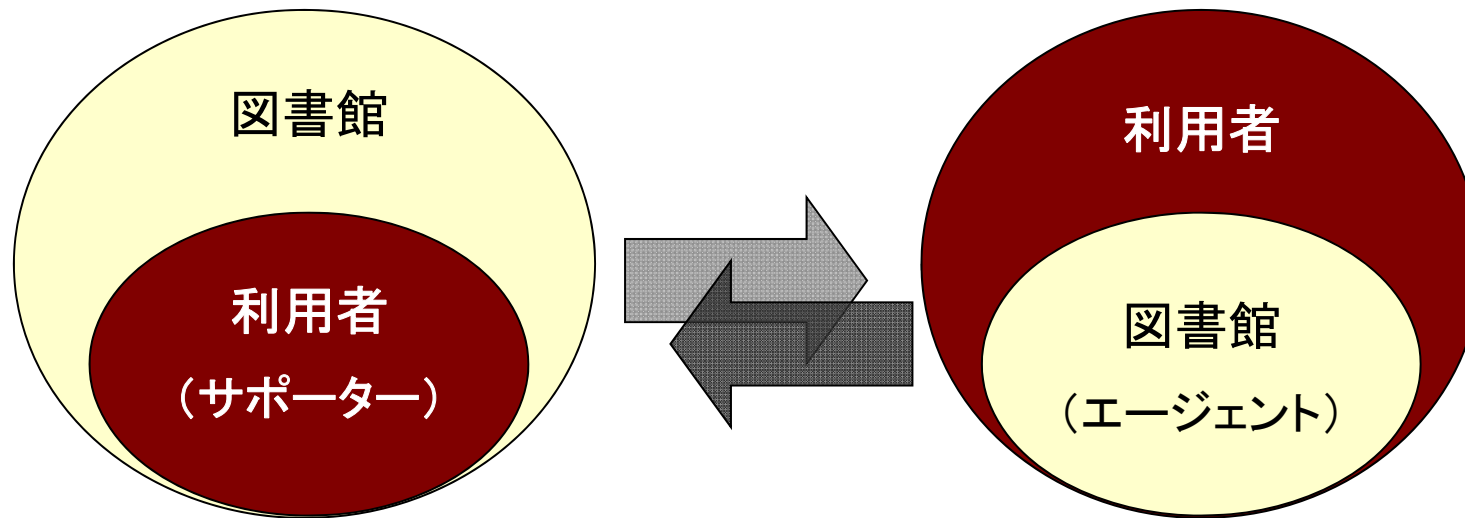
図書館は利用者のニーズに合わせてサービスや資料を提供する

第三段階



利用者の立場にたって利用を促進する

第四段階



利用者から学び価値を共に創る

二分法的区分の解体

サービス提供者 ⇔ サービス享受者
情報発信者 ⇔ 情報受信者

大学図書館における学習支援

1. はじめに
2. 利用者と大学図書館の関係性の変化
3. 利用者とともにつくる学習支援
4. 大学における学習支援
5. 学習支援を再構築するラーニング・コモンズ
6. ラーニング・コモンズにおける学生アシスタントの役割
7. 大学図書館における学習支援の今後に向けて

利用者との協働

- 学生・教職員→本来的には利用者
- 図書館が新たな価値を創出し、より利用者志向のサービスを目指すためには利用者との協働が不可欠

利用者との協働・協力のさまざまな形

- **学生**

学生アシスタント, アルバイト, ボランティア, サークル活動, イベントへの参加等

- **教員**

授業との連携, 各種委員会, 選書, イベントへの参画等

- **職員(図書館内・図書館外)**

部署をこえた協働, 各種委員会, 情報交換等

大学図書館における学習支援

1. はじめに
2. 利用者と大学図書館の関係性の変化
3. 利用者とともにつくる学習支援
4. **大学における学習支援**
5. 学習支援を再構築するラーニング・コモンズ
6. ラーニング・コモンズにおける学生アシスタントの役割
7. 大学図書館における学習支援の今後に向けて

大学における学習支援

- **大学図書館**における学習支援を考える前に、**大学**における学習支援を考えてみる
 - 導入教育（初年次教育，補習教育を含む）
 - 学習環境の提供（施設・設備，資料，サービス）
 - その他，キャリア支援，科目履修支援，カウンセリングなど

提供者の視点から利用者への視点への転換

それぞれの担当部署で提供

- 導入教育（初年次教育，補習教育を含む）
- 学習環境の提供（施設・設備，資料，サービス）
- その他，キャリア支援，科目履修支援，カウンセリングなど



利用者の視点からワンストップで提供

大学図書館における学習支援

1. はじめに
2. 利用者と大学図書館の関係性の変化
3. 利用者とともにつくる学習支援
4. 大学における学習支援
5. **学習支援を再構築するラーニング・コモンズ**
6. ラーニング・コモンズにおける学生アシスタントの役割
7. 大学図書館における学習支援の今後に向けて

ラーニング・コモンズとは？

- ラーニング・コモンズを知らない人に、どのように説明されますか？

ラーニングコモンズの具体的構成要素

- コンピュータ群
- サービス・デスク
- 共同学習スペース
- プレゼンテーション支援センター
- ファカルティ・デベロップメントのための教育支援センター
- ライティング支援センター
- ミーティングやセミナー, レセプション, その他文化的イベントを開催するためのスペース
- カフェ, ラウンジ

日本におけるラーニング・コモンズのイメージ

「ラーニング・コモンズ？ ああ、図書館にカフェとかって話ですか？」

「本学の図書館ではラーニング・コモンズを設置していませんが、試験前は閲覧室がラーニング・コモンズのようになります。」

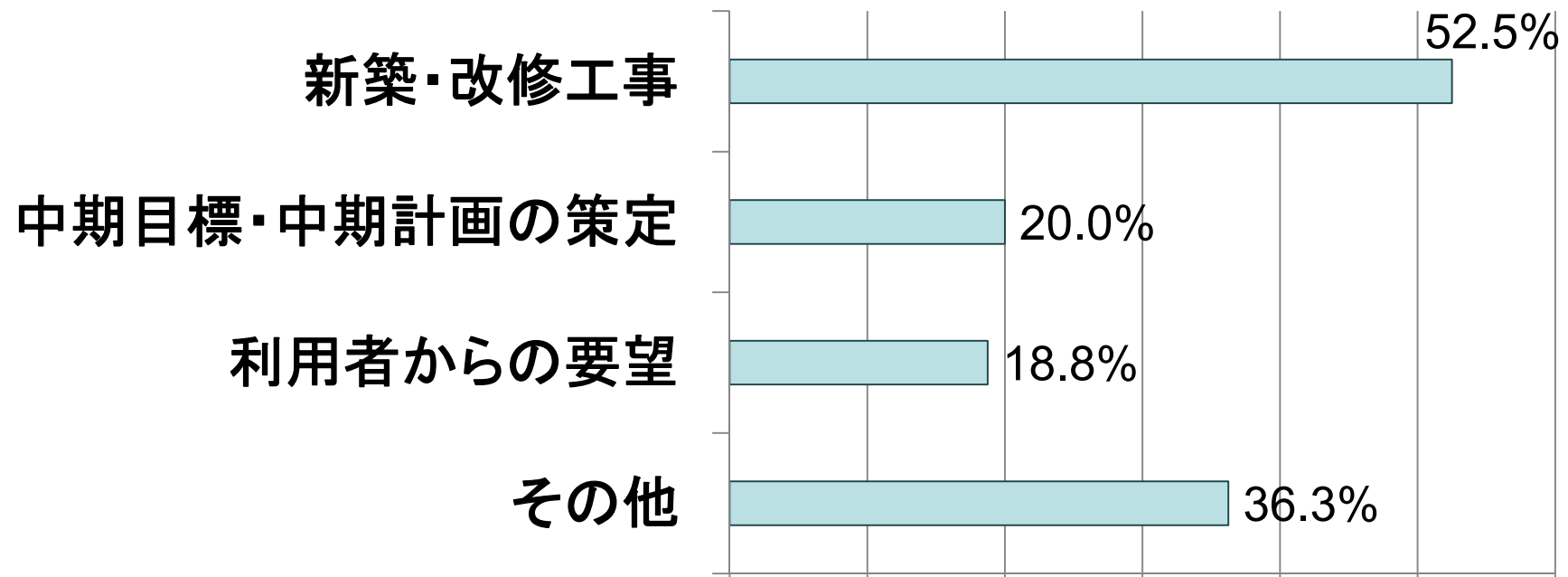
「海外の有名なラーニング・コモンズを見学してきた。パソコンがたくさん並んでいて、あれなら本学の図書館も同じサービスを提供していると思いました。」

ラーニングコモンズの具体的構成要素

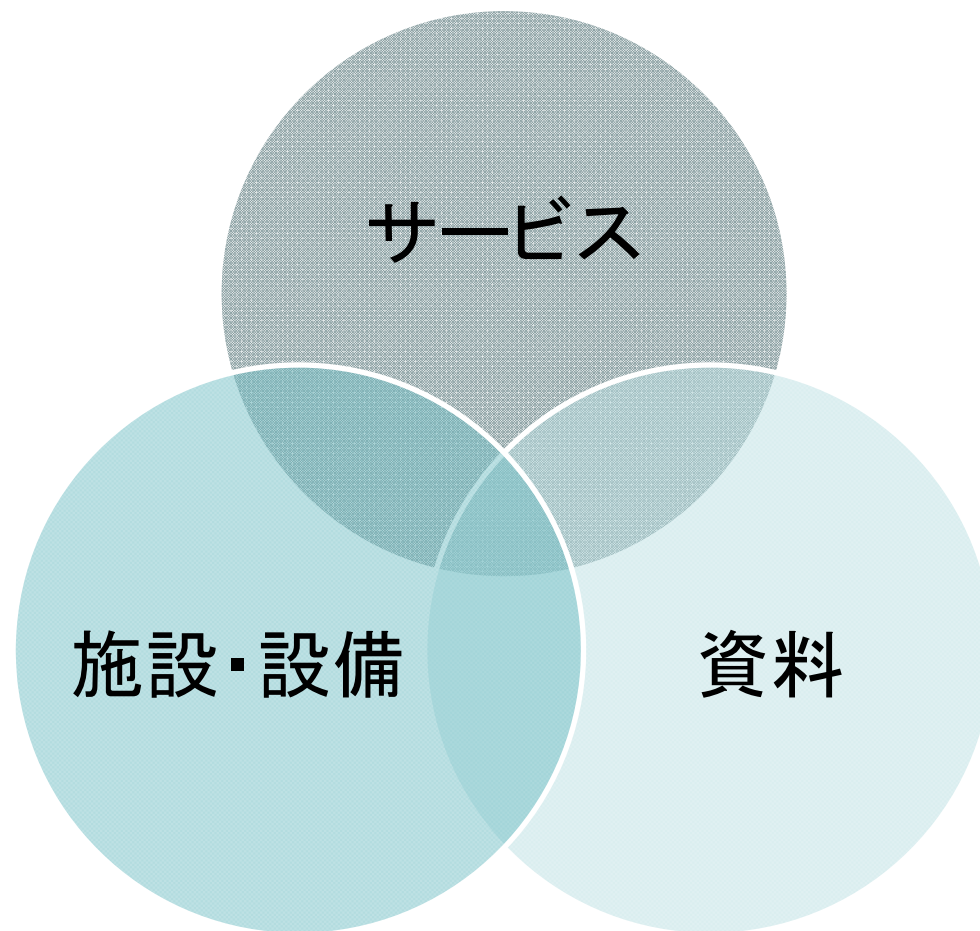
- コンピュータ群
- サービス・デスク
- 共同学習スペース
- プレゼンテーション支援センター
- ファカルティ・デベロップメントのための教育支援センター
- ライティング支援センター
- ミーティングやセミナー, レセプション, その他文化的イベントを開催するためのスペース
- カフェ, ラウンジ

日本におけるラーニング・コモンズ

- 施設・設備に目がむけられがち



ラーニング・コモンズを構成する三要素



ラーニング・コモンズの定義

主として学生を対象とし、学習支援のための施設・設備，サービス，資料を総合的にワンストップで提供する学習支援空間

大学図書館とはもともと、学習支援のための施設・設備，サービス，資料を提供してきた。

何をいまさら、ラーニング・コモンズ？

「学習支援」の範囲が限定されてしまっている

大学における学習支援

- **大学図書館**における学習支援を考える前に、**大学**における学習支援を考えてみる
 - 導入教育（初年次教育，補習教育を含む）
 - 学習環境の提供（施設・設備，資料，サービス）
 - その他，キャリア支援，科目履修支援，カウンセリングなど

ラーニング・コモンズの背景

1. 学習・教授理論の転換

知識の教員から学生への移転するもの

→知識は教員と学生が共に創出するもの

2. 学生の多様化

成人学生やパートタイム学生の増加など

3. デジタル・ネイティブ学生の増加

誕生時,あるいは,物心がついた時からデジタル・メディアや技術に囲まれて成長し,これらに親しんできた人々

ラーニング・コモンズの特徴

- 利用者志向
- 非図書館中心

利用者志向

それぞれの担当部署で提供

- 導入教育（初年次教育，補習教育を含む）
- 学習環境の提供（施設・設備，資料，サービス）
- その他，キャリア支援，科目履修支援，カウンセリングなど



利用者の視点からワンストップで提供

* どの学習支援サービスをワンストップで提供するかは，それぞれの大学のミッションや特色による

非図書館中心

- 従来図書館が提供してきた範囲をこえた学習支援サービスの提供
- ラーニング・コモンズの設置場所
 - 大学図書館
- 大学図書館にラーニング・コモンズが設置される理由
 - 中立であること
 - 学習支援を提供してきた歴史があること

日本におけるラーニング・commonsの現状

学習支援空間に関するアンケート調査票

期間:2010年7月26日～8月31日

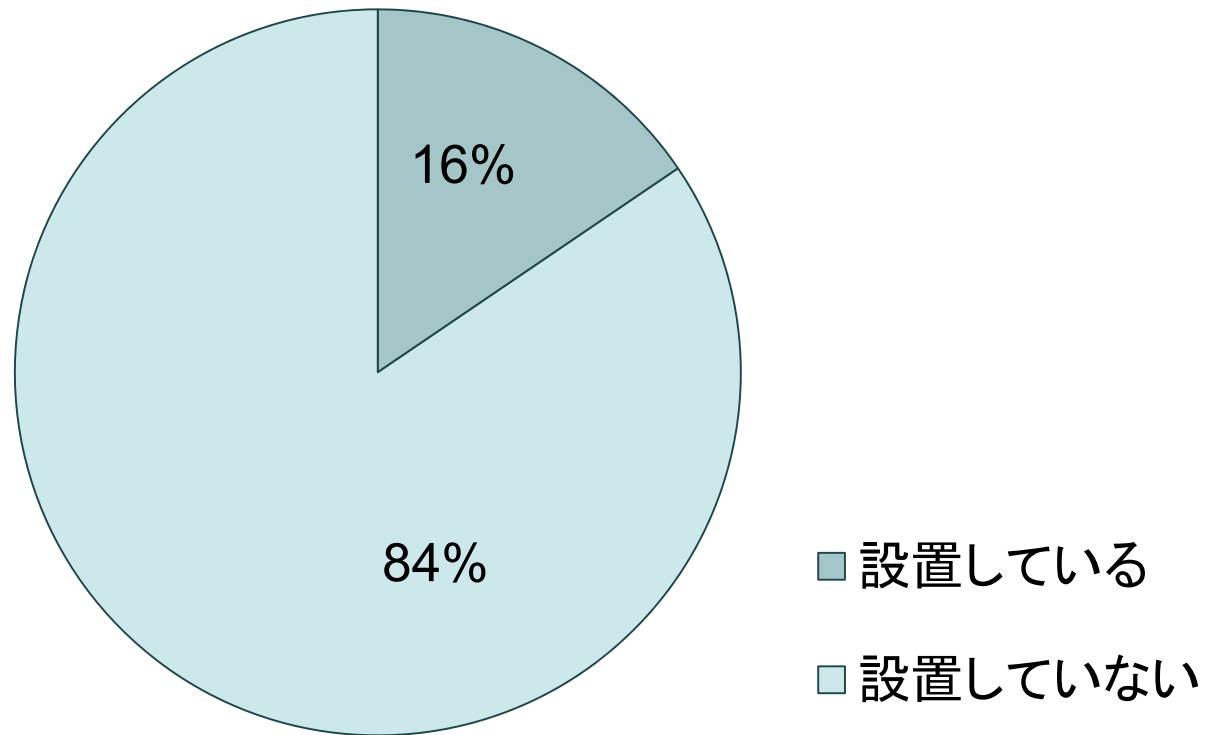
対象:日本の全四年制大学に設置される図書館

設置区分	送付数(館)	回答数(館)	回収率(%)
全体	755	524	69.4
国立	86	75	87.2
公立	77	65	84.4
私立	592	384	64.9

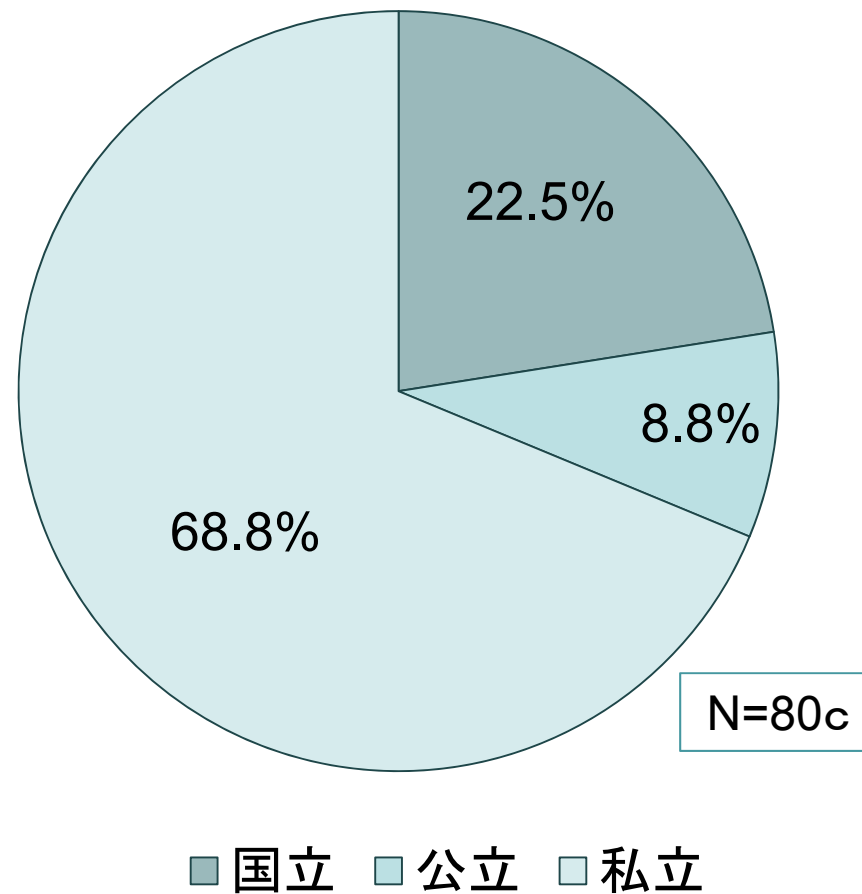
質問紙調査：質問内容

- ①大学図書館において提供されている学習支援に関する資料, 設備, サービスなど
- ②ラーニング・コモンズの設置状況
- ③ラーニング・コモンズに必要なだと考えられる要素

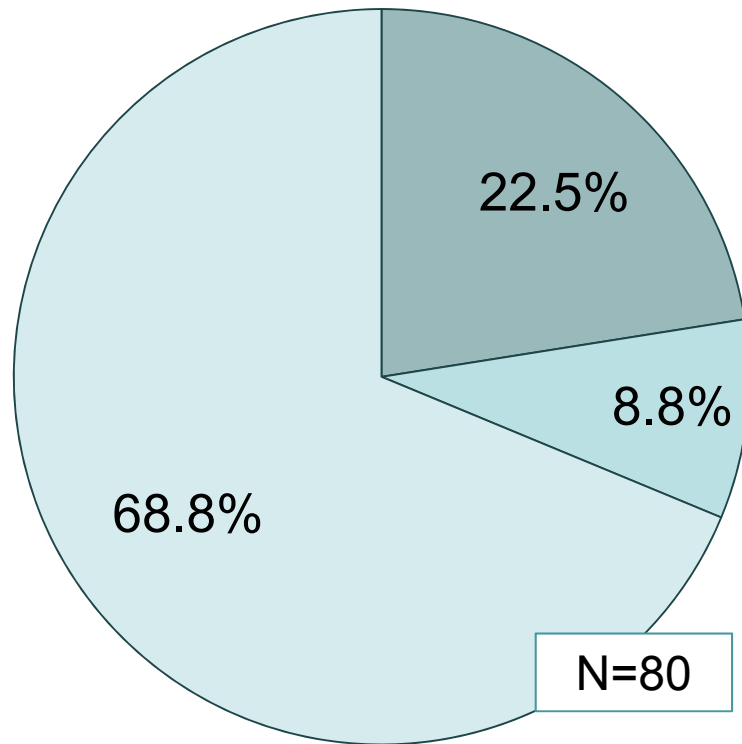
ラーニング・コモンズ設置率



国公立別ラーニング・commonsの設置率

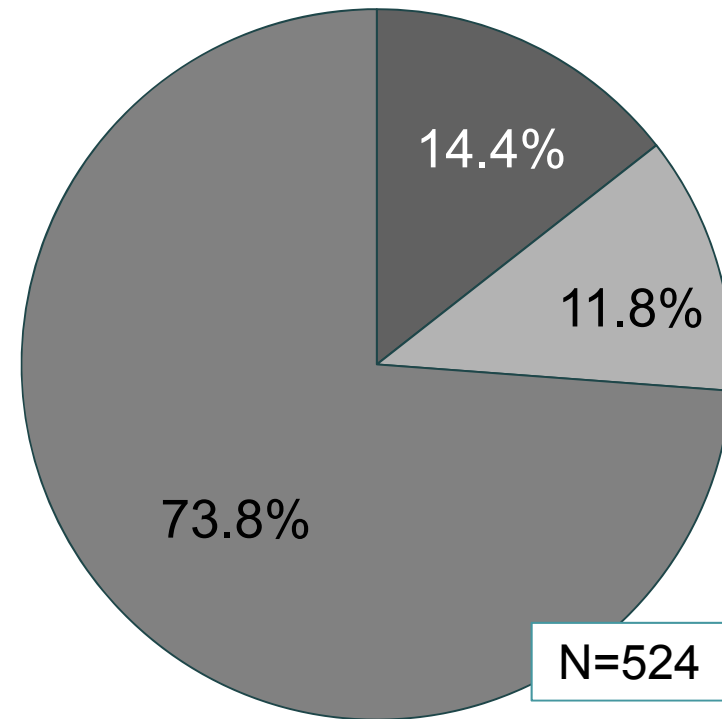


国公立別ラーニング・コモンズの設置率 質問紙回答率との比較



■ 国立 ■ 公立 ■ 私立

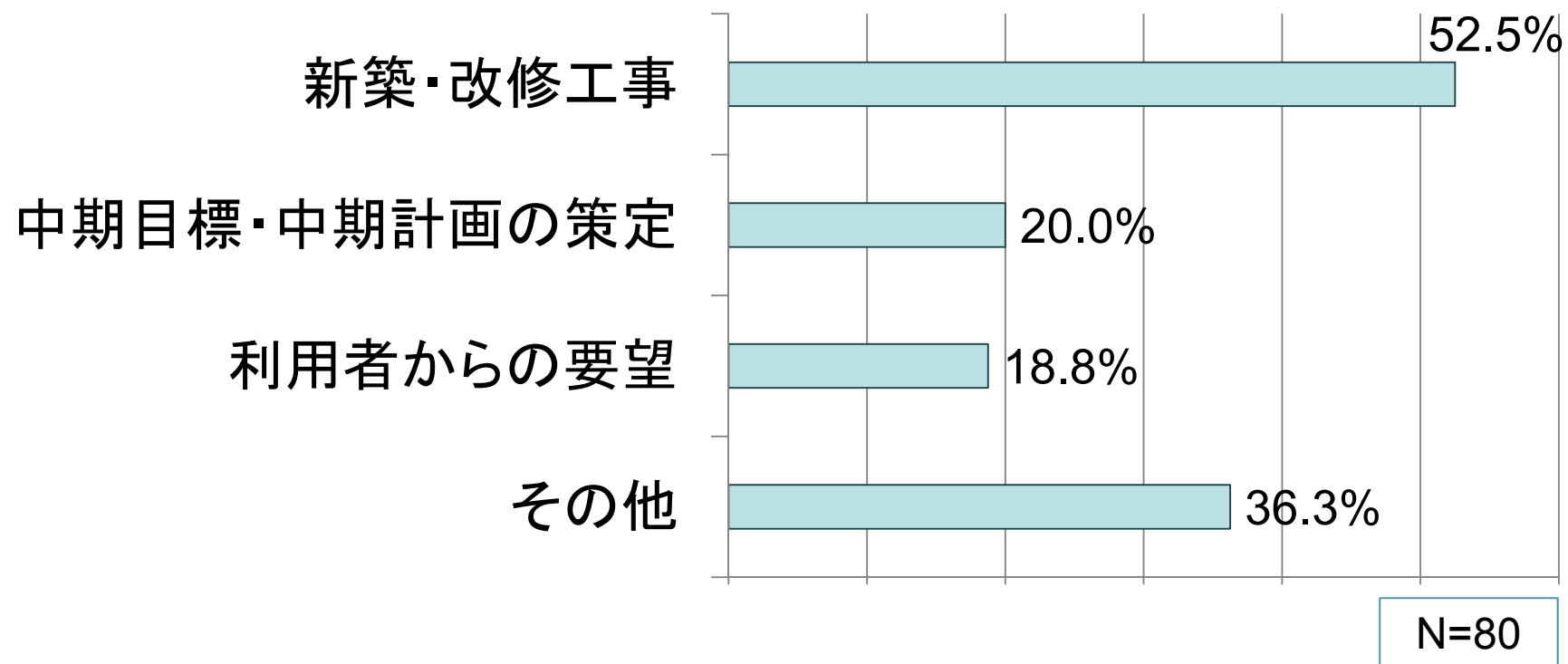
国公立別
ラーニング・コモンズ設置



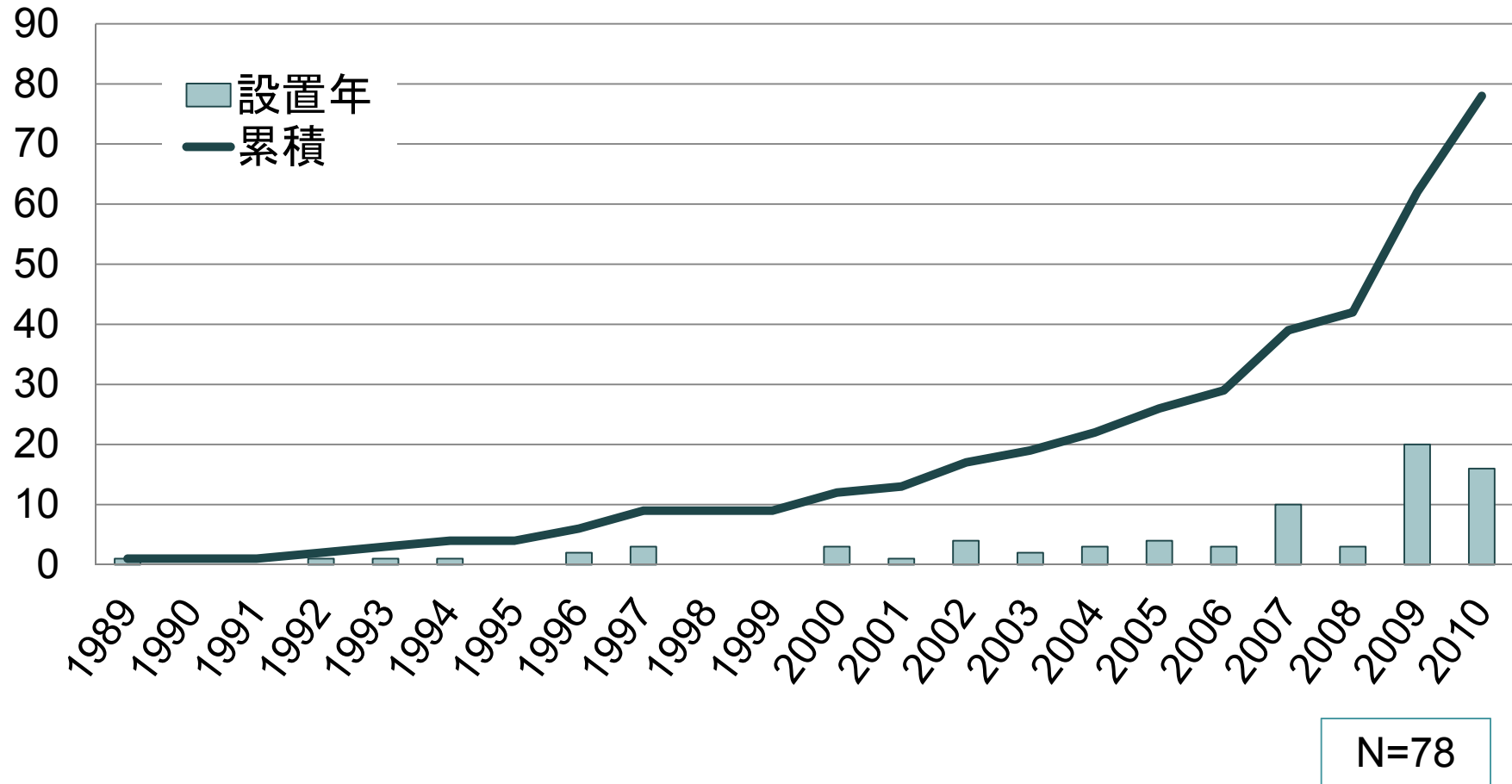
■ 国立 ■ 公立 ■ 私立

国公立別
質問紙回答

ラーニング・コモンズ設置のきっかけ



ラーニング・コモンズの設置年



大学図書館における学習支援

1. はじめに
2. 利用者と大学図書館の関係性の変化
3. 利用者とともにつくる学習支援
4. 大学における学習支援
5. 学習支援を再構築するラーニング・コモンズ
6. ラーニング・コモンズにおける学生アシスタントの役割
7. 大学図書館における学習支援の今後に向けて

提供者の視点から利用者への視点への転換

それぞれの担当部署で提供

- 導入教育（初年次教育，補習教育を含む）
- 学習環境の提供（施設・設備，資料，サービス）
- その他，キャリア支援，科目履修支援，カウンセリングなど



利用者の視点からワンストップで提供

ラーニング・コモンズにおけるサービス提供者

- 図書館スタッフ
- 協働をベースとする図書館以外のスタッフ
- 学生図書館アシスタント
(Student Library Assistant: SLA)

学生アシスタントとは

- 自発的・自立的に関与する
 - ⇔ 単純作業を機械的にこなす
- 図書館スタッフの一員としての働き
- 日本における学生アシスタントの定義

米国の大学図書館における学生アシスタント

- 米国では1910年から導入されており, 時代によってその役割は変化
- ラーニング・コモンズのサービス提供の担い手として重要な役割

米国のラーニング・コモンズにおける 学生アシスタントの役割

①分担型

レファレンス・サービス: 図書館員

IT支援: 学生アシスタント

②階層型

複雑なレファレンス: 図書館員

それ以外の: 学生アシスタント

③学生アシスタント中心型

学生アシスタントが中心となってレファレンスを行い、
図書館員は環境整備やテイラード・サービスを

カリフォルニア州立大学サンマルコス校 ケロッグ図書館のヘルプ・デスク統計

	2003/ 2004	2004/ 2005	2005/ 2006
RHDにて学生アシスタント対応	12,064	10,920	8,760
RHDにて図書館員対応	7,372	6,713	6,959
図書館員の個別対応	400	994	1,007
Total	19,836	19,627	17,600
学生アシスタントからの照会		127	575

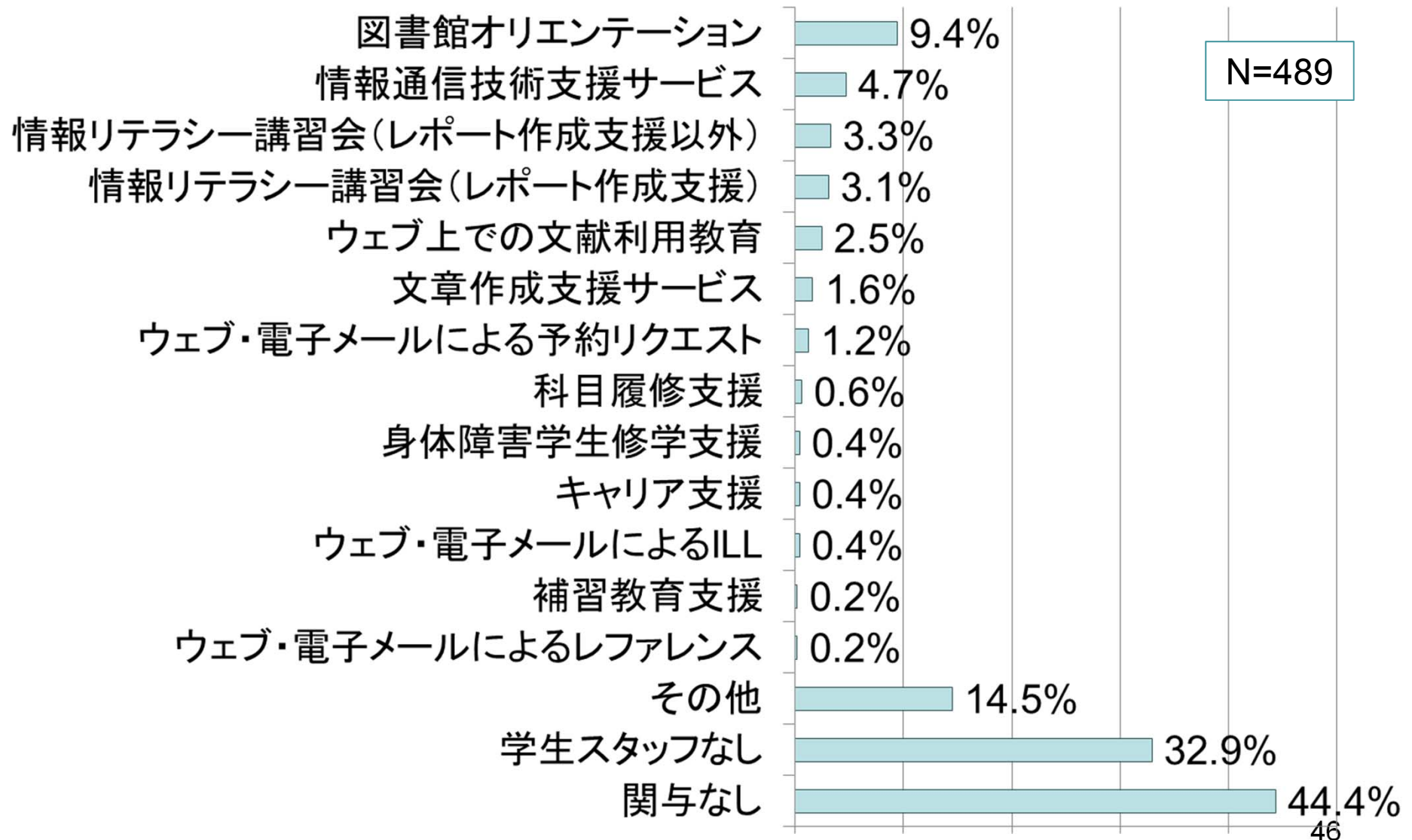
* RHD: Research Help Desk

Reference usage statistics, Susan Thompson and Gabriela Sonntag. Building for learning: synergy of space, technology and collaboration. Edited by Barbara Schader. Learning Commons: Evolution and Collaborative Essentials. Chandos Publishing, 208, p.134 より抜粋

学生アシスタント活用の意義

- 人的資源の量的・質的補完
- サービス再考・創出の機会
- 学生のニーズの把握
- 質問しやすい環境の実現
- 学習の機会・実践の場の提供

日本における学生スタッフの実態



日本のラーニング・コモンズにおける 学生スタッフの配置

日本の大学図書館のラーニング・コモンズにおける学生スタッフの配置は、わずか、20.5パーセント(16館)

- 予算の問題
- 図書館員の余裕
- 学生スタッフ／学生アシスタントのとらえ方

学生アシスタントのトレーニング

- サービスの質保証の観点から必須
- 事前研修
- OJT(オン・ザ・ジョブ・トレーニング)
- サービスのマニュアル化
- 情報共有のしくみ

大学図書館における学習支援

1. はじめに
2. 利用者と大学図書館の関係性の変化
3. 利用者とともにつくる学習支援
4. 大学における学習支援
5. 学習支援を再構築するラーニング・コモンズ
6. ラーニング・コモンズにおける学生アシスタントの役割
7. 大学図書館における学習支援の今後に向けて

大学図書館における学習支援の今後に向けて

- 大学図書館における学習支援を再考
 - 大学における学習支援
 - 大学における学習支援のなかで大学図書館が果たす役割
 - 大学図書館でどんな学習支援を提供するか
 - 何をワンストップで提供するか
 - これまでの延長線上からいったん離れて

これまでの延長線上

「大学図書館で補習教育？

本来の大学図書館の役割から逸脱している」

「大学図書館にカフェ？

資料へのダメージが心配。本当に必要？」

「グループ学習室？

そんなものは昔から提供している」

大学図書館における学習支援の今後に向けて

- 大学における学習支援のグランドビジョンを利用者とともに策定
- 学習支援における大学図書館の位置づけの確認
- 利用者志向への転換
- 他部署や教員との情報共有, コミュニケーション → コミュニケーション・スキル